

月	単元	時数	学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	野原はうたう 声を届ける/書き留める/ 調べる 続けてみよう 詩の清書（書写）	2 3 1 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの詩の良さについて情景や心情、表現の特徴を考える。</li> <li>音読と発表の基本やノートの取り方を確認し、情報の調べ方の基本を確認する。</li> <li>後で生かせる記録のしかたを工夫する。</li> <li>自分で詩を作って楷書で清書し掲示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア)</li> <li>→速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。</li> <li>→情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。</li> <li>音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア)</li> <li>→聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。</li> <li>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</li> <li>→線や矢印で情報を整理している。</li> <li>・表現を工夫して詩を創作し全体のバランスを考え丁寧な字で清書している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</li> <li>→日常生活やこれまでに読んだ本の中から題材を決め、情報を整理して「言葉の手帳」に書き込んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。</li> <li>音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>ノート</li> <li>ワークシート</li> <li>作文、感想文</li> <li>朗読</li> <li>作品</li> </ul>
5	シンジュン	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物や場面をとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>ノート</li> </ul>

	わかりやすく説明しよう	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>情景描写や人物の言動から主人公の気持ちの変化をとらえる。</li> <li>伝える目的や相手を明確にし、説明する観点を決め、段落のまとまりを意識し、わかりやすい説明の文章を書く。</li> </ul>	<p>辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>→登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。</p> <p>比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>→集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。</p>	<p>関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)</p> <p>→場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。</p> <p>「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>→目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。</p>	<p>課題に沿って感想を交流しようとしている。</p> <p>集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>作文、感想文</li> <li>朗読</li> <li>定期考査</li> </ul>
6	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって	4 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>段落の役割を意識して各段落の内容を要約し、文章の書き方について工夫点を考える。</li> <li>文章と図の関連や段落と段落の関係に注意して文章の構成をとらえる。</li> <li>筆者のものの見方を自分の知識や体験と関連づけて理解し自分なりの考えをもつ。</li> </ul>	<p>比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>→本文中で比較がどのように使われているかを理解している。</p> <p>原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>→筆者の主張と事例との関係を理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>→「問い」と「答え」から中心的部分を捉え、筆者の主張を理解している。</p> <p>「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係な</p>	<p>文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。</p> <p>進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>ノート</li> <li>ワークシート</li> <li>作文</li> <li>スピーチメモ</li> <li>朗読</li> <li>定期考査</li> </ul>

	<p>好きなものを紹介しよう —スピーチをする</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしさが効果的に伝わるスピーチメモを作りスピーチを行う。</li> <li>・互いのスピーチを聞き合わせながら効果的に伝わるために大切なことを整理する。</li> </ul>	<p>音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) →声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。</p>	<p>どについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) →序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) →聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</li> </ul>	<p>スピーチをしようとしている。 引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。</p>	
--	---------------------------------	---	---	--	---	--	--

	情報の集め方を知ろう	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の活用方法、辞書やインターネットなどの調べ方を確認し、身近なテーマについて調べ考えをまとめる。</li> </ul>	<p>比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。(2)イ</p> <p>→グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し，引用のしかたや出典の示し方を理解している。</p>	<p>→調べたいテーマについて，本やインターネットを活用して情報を集め，整理し，伝えたいことを明らかにして書いている。</p> <p>・「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して要約し，内容を解釈している。(C(1)ウ)</p> <p>→必要な情報に着目して要約し，内容を理解している。</p>		
7	詩の世界	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩を味わうための観点を整理し表現の特徴から作者の伝えたい思いを想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</li> <li>→詩の中の語句の意味を捉えながら，語感を磨き，語彙を豊かにしている。</li> <li>・比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ</li> <li>→表現の技法を理解し，表現を工夫して詩を書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)</li> <li>→詩に描かれている情景を想像し，表現の効果を考えている。</li> <li>・「書くこと」において，根拠を明確にし，自分の考えが，伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</li> <li>→自分の思いが読み手に伝わるように，言葉や表現を工夫して詩を書いている。</li> </ul>	<p>文章の構成や展開，表現の効果について積極的に考え，学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・作文、感想文</li> <li>・朗読</li> <li>・定期考査</li> <li>・作品</li> </ul>
	比喩で広がる言葉の世界	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩について理解し言葉</li> </ul>	<p>比喩などの表現の技法を理</p>	<p>「読むこと」において，文章の中心的部分と付加的な</p>	<p>進んで要旨を把握し，学習</p>	

	楷書を書こう（書写）	5	<p>について考えたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆で楷書、かなを練習し清書する。</li> </ul>	<p>解し使っている。(1)オ →文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆使い、字形の整え方、筆順を確かめて書くことができる。</li> </ul>	<p>部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) →各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。</p>	<p>課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。</p>	
	読書を楽しむ	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書教材を読み、読書紹介を書く。</li> <li>・読書案内を読み、夏休みの読書計画の参考とする。</li> </ul>	<p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ →さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。</p>		<p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。</p>	
9	大人になれなかった弟たちに・・・	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の特徴や時代の描かれ方に着目し、自分を見つめ、生き方を深めていくことの大切さを考える。</li> </ul>	<p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ →戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。</p>	<p>「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) →描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。</p>	<p>登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・作文、感想文</li> <li>・朗読</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	星の花が降るころに	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面ごとに行動や情景描</li> </ul>	<p>比喩、反復、倒置、体言止め</p>	<p>「読むこと」において、場</p>	<p>進んで場面と場面、場面と</p>	

			写など、登場人物の心情がわかる表現を見つけ、その時の心情を考えて作品を読む。	などの表現の技法を理解している。(1)オ →様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたどっているのか考えている。	面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。(1)ウ →場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。	描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	
9	「言葉」をもつ鳥、ジジュウカラ  資料を引用してレポートを書く	5  4	・記録の文章の構成と図表の役割に着目して 事実と筆者の考えを読み分ける。  ・自ら課題を設定し、情報を集め整理してからレポートにまとめる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア →筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。  比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ →情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけている。	「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(1)エ →筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。  ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(1)イ →自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。  ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(1)ウ →自分の考えを裏づける資料やデータを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連づけて、考察を導き	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。  文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。	・観察 ・ノート ・ワークシート ・作文、感想文 ・朗読 ・定期考査 ・作品 ・案内文

					出している。		
10	いろは歌	3	<p>・音読を繰り返し古文特有のリズムなどを味わい、現代文と古文で異なる部分を確かめ古文の表現の特徴を知る。</p>	<p>・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア →言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。</p> <p>・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ →小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。</p>		<p>古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・作文、感想文</li> <li>・朗読</li> <li>・定期考査</li> <li>・作品</li> </ul>
	蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から	4	<p>・登場人物の思いや行動を現代に生きる自分と比較し、感じたこと考えたことを発表する。</p>	<p>音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア →音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。</p>	<p>「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) →「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。</p>	<p>進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。</p>	
	今に生きる言葉	3	<p>・音読を通して漢文特有のリズムを味わう。</p>	<p>音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢</p>	<p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに</p>	<p>積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故</p>	

	心に残った言葉を硬筆で書く(書写)	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 故事成語の由来と意味を理解する。</li> <li>・ 意味を大切に丁寧な言葉を書く。</li> </ul>	<p>文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) →音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筆使い、字形の整え方、筆順を確かめて書くことができる。</li> </ul>	<p>基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) →「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) →「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。</li> </ul>	<p>事成語を使った文章を書こうとしている。</p>	
11	「不便」の価値を見つめ直す	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 序論・本論・結論に分け、中心となる部分をとらえ、文章全体の要旨をまとめる。</li> <li>・ 筆者の主張に対する自分の考えを具体的な根拠を挙げて書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) →意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。</li> <li>・ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) →要約するための情報の整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) →目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。</li> <li>・ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) →賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対</li> </ul>	<p>積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察</li> <li>・ ノート</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 作文、感想文</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>

	話題や方向を捉えて話し合おうーグループ・ディスカッションをする	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ・ディスカッションの方法と進め方を学び、課題を選んでグループ・ディスカッションをする。</li> <li>・自分の考えをもって意見交換する。</li> </ul>	<p>理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。</p> <p>意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア →自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。</p>	<p>する自分の考えをまとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</li> </ul> <p>→立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) →話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。</p>	積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。	
12	作品の書評を書く	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を分析するときの観点を決め、書評に使う言葉を利用して書評を書く。</li> </ul>	<p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ →書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解している。</p>	<p>「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) →読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。</p>	読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見いだし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・作文、感想文</li> <li>・朗読</li> <li>・定期考査</li> <li>・作品</li> </ul>

	君たちはどう生きるか	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を通して様々な人の生き方や考え方に触れて、自分の考え方や見方を広げる。</li> </ul>	<p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ</p> <p>→読書の意義(=読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと)を理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C1)オ</p> <p>→筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引き、考えたことをグループで発表し合う活動を通して、自分の理解を確かなものにしていく。</p>	<p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>	
	行書を書こう(書写)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書と行書を比較し行書の特色を学ぶ。</li> <li>・毛筆で行書を書いて書き初めのポイントを掴む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点画の方向や形の変化、連続の筆使いを意識して書き、筆遣いや筆順を理解し、バランスよく、勢いよく書いている。</li> </ul>			
1	少年の日の思い出	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語り手の変化や場面展開を把握する。</li> <li>・登場人物の心情の変化や、ものの見方、考え方を読み取り自分の意見を持つ。</li> <li>・言葉の並びの工夫や比喻について学ぶ。</li> </ul>	<p>事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>→場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。</p>	<p>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C1)エ</p> <p>→時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C1)オ</p> <p>→登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えを</p>	<p>文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・作文、感想文</li> <li>・朗読</li> <li>・定期考査</li> <li>・作品</li> </ul>

					もっている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) →別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。		
2	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	8	随筆を書き、感じたことや考えたことを書く。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) →体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。	・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) →読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) →書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。	粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	・観察 ・ノート ・ワークシート ・定期考査 ・作品
3	1年間の学びを振り返ろうーポスターセッション	9	・伝えたいことを効果的な図表を入れたポスターにしてまとめ、グループで発表	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわ	集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにま	・観察 ・ノート ・ワークシート

	<p>「さくらの はなびら」</p>	<p>2</p>	<p>する。</p> <p>・詩の中の言葉や表現を読み味わい、作者の思いを想像し、自分のものの見方や考え方を広げる。</p>	<p>→声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。</p> <p>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>→情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまとめている。</p> <p>比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ</p> <p>→詩に用いられている表現の技法を理解し使っている。</p>	<p>かりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)</p> <p>→聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>(B(1)ア)</p> <p>→「観点」に見合った情報を集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ)</p> <p>→詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。</p>	<p>とめ、発表しようとしている。</p> <p>文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>・作文、感想文</p> <p>・定期考査</p> <p>・作品</p>
--	--------------------	----------	--	--	--	--	--

月	単元	時数	学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	<p>【地理的分野】 地理を学ぶにあたって 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿</p> <p>第2章 日本の姿</p>	<p>1</p> <p>6</p> <p>7</p>	<p>○世界の国や文化の概要に触れる</p> <p>○私たちの住む地球を眺めて</p> <p>・さまざまな視点から衛星写真を見て、世界や日本の姿を大観する。</p> <p>○いろいろな国の国名と位置</p> <p>・地図帳を活用して主な国々の名称と位置を調べる。</p> <p>○緯度と経度</p> <p>・地球上の位置の表し方について、緯度と経度や赤道などの意味を理解する。</p> <p>○地球儀と世界地図の違い</p> <p>・様々な世界地図を目的に応じて使い分けることを適切に判断する。</p> <p>○世界の中での日本の位置</p> <p>・地球儀や世界地図を活用しながら、様々な方法で日本の位置を表現する。</p> <p>○時差でとらえる日本の位置</p> <p>・時差のしくみを理解し、日本と世界各地の時差を考え、表現する。</p> <p>○日本の領域とその特色</p> <p>・日本の領域をめぐる問題</p>	<p>・地球儀や地図帳、統計資料など様々な資料を活用し、国土の位置や世界各地との時差、領域の範囲や変化などの知識を身に付け、世界の地域構成の特色を理解している。</p>	<p>・日本の地域構成について、周辺の海洋や国土の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現するとともに、日本の領域をめぐる問題についての的確に判断している。</p>	<p>・位置や分布などに着目して日本の地域構成や日本の領域をめぐる問題に対する関心を高め、日本の地域構成の特色を意欲的に追究している。</p>	<p>授業プリント ワークシート 単元テスト 定期考査</p>

			<p>について関心を高め、論理的に判断し表現する。</p> <p>○都道府県と県庁所在地</p> <p>・都道府県と都道府県庁所在地について分類する基準を考え、表現する。</p>				
5	<p>第2部 世界のさまざまな地域</p> <p>第1章 人々の生活と環境</p>	9	<p>○世界のさまざまな生活と環境</p> <p>・地域による生活の違いについて関心を高め、その理由を意欲的に追究する。</p> <p>○暑い地域の暮らし</p> <p>・熱帯の自然環境と生活の変化について考察し、表現する。</p> <p>○乾燥した地域の暮らし</p> <p>・資料から乾燥帯の自然環境と生活の変化を読み取り、表現する。</p> <p>○温暖な地域の暮らし</p> <p>・温帯の気候を比較して共通点と相違点について考え、表現する。</p> <p>○寒い地域の暮らし</p> <p>・自然環境に応じた衣食住の工夫について理解する。</p> <p>○高地の暮らし</p> <p>・高知と平地の相違点を比較し、表現する。</p> <p>○世界各地の衣食住とその変化</p> <p>・世界各地の衣食住の特色や変化、人々の生活との関係について理解する。</p> <p>○人々の生活と宗教の関わ</p>	<p>・人々の生活や変容と自然及び社会的条件が相互に影響を与え合うことや、世界の人々の生活や環境の多様性について、諸資料を活用しながら理解している。</p>	<p>・人々の生活の特色や変容の理由について多面的・多角的に考察し、生活と自然及び社会的条件の相互の関係について判断し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・世界各地における人々の生活やその変容について関心を高め、場所や人間と自然環境との相互依存関係について意欲的に追究している。</p>	<p>授業プリント</p> <p>ワークシート</p> <p>課題レポート</p> <p>単元テスト</p> <p>定期考査</p>

			り ・宗教が生活と深く関わることを意欲的に追究する。				
6 7	【歴史的分野】 第1編 私たちと歴史	6	○小学生の頃に学んだ歴史上の人物・出来事を思い出しながら歴史に興味をもつ。 ○歴史の流れをふり返る ・歴史を大きく変えた人物を選び、その人物を選んだ理由を考え、表現する。 ○年代・時代区分のあらわし方 ・西暦の成り立ち、紀元前と紀元後のちがい、世紀の意味を理解する。	・諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べてまとめながら、世界の各地で文明が築かれたこと、東アジアの文明の影響を受けながら日本列島に国家が形成されたことを理解している。	・古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して、事象を相互に関連付けるなど、古代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・資料から世界の古代文明の発生や宗教のおこりの要因や影響、日本列島に国家が形成された要因について主体的に追究するとともに、多面的・多角的な考察を通して日本の歴史に対する関心を深めている。	授業プリント ワークシート 単元テスト 定期考査
	第2編 古代までの日本と世界 第1節 人類の始まりと文明	8	○人類の出現 ・人類がどのように進化したのかを理解する。 ○古代文明の誕生 ・古代文明が発明したことを資料から読み取り、表現する。 ○中国の文明と東アジア ・中国の古代国家と他の地域との関わりについて理解する。 ○ギリシャ・ローマの文明 ・ギリシャ文明やローマ帝国と他の地域との関わりを理解する。 ○文明と宗教 ・古代文明と宗教のおこりとの関連を理解する。				

9 10	第2節 日本列島の人々と国家の形成	8	<p>○日本人のルーツと縄文時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原始の日本列島の人々の暮らしを理解する。</li> </ul> <p>○稲作の広まりと弥生時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弥生時代の特色を、縄文時代と比較して考え、表現する。</li> </ul> <p>○ヤマト王権と渡来人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな古墳をつくることのできた理由を考え、表現する。</li> </ul> <p>○東アジアの統一国家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアの統一国家の成立が日本に与える影響を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べてまとめながら、世界の各地で文明が築かれたこと、東アジアの文明の影響を受けながら日本列島に国家が形成されたことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して、事象を相互に関連付けるなど、古代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から世界の古代文明の発生や宗教のおこりの要因や影響、日本列島に国家が形成された要因について主体的に追究するとともに、多面的・多角的な考察を通して日本の歴史に対する関心を深めている。</li> </ul>	<p>授業プリント ワークシート 単元テスト 定期考査</p>
	第3節 古代国家の展開	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖徳太子と飛鳥文化</li> <li>・聖徳太子の業績のランキングを考え、表現する。</li> </ul> <p>○律令国家の成立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・律令国家の成立に最も影響した出来事を考え、表現する。</li> </ul> <p>○奈良の都と人々の暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・租調庸や兵役・労役が大きな負担となり、逃亡したり僧になったりするなど、税を逃れる人が現れたことを考え、表現する。</li> </ul> <p>○天平文化と聖武天皇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天平文化が仏教の広まりや遣唐使がもたらす唐の文化の影響を受けて成立したことを考え、表現する。</li> </ul> <p>○平安京と桓武天皇</p>				

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤原氏がどのように政治の実権を握ったかを理解する。</li> <li>○摂関政治と国風文化</li> <li>・藤原氏がどのように政治の実権を握ったかを理解する。</li> <li>・東アジアの変化を背景に、貴族が生み出した国風文化の特色を考え、表現する。</li> </ul>				
10 11	<p><b>【地理的分野】</b></p> <p>第2部 世界のさまざまな地域</p> <p>第2章 世界の諸地域</p> <p>第1節 アジア州</p>	9	<p>○アジア州の自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア州を地域区分し、地形や気候を中心に、国々や自然などの基本的な特色を理解する。</li> <li>○アジア州の農業・文化と経済発展</li> <li>・中国の地域によって異なる農業、民族や文化の違い、人口の問題について、資料から読み取り、表現する。</li> <li>○経済発展を急速に遂げた中国</li> <li>・中国の急速な経済発展や生活の変化を工業化と関連付けて理解するとともに、急速な経済発展によっておこる課題について考え、表現する。</li> <li>○最も近い隣国、韓国</li> <li>・温文化や工業の特色、首都一極集中による地域の課題などについて理解し、日本との関わりについて考え、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア州に暮らす人々の生活をもとに、アジア州の地域的特色を大観し、世界各地で見られる地域的課題がアジア州の地域的特色の影響を受けてアジア州独特の様相を見せていることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、アジア州で見られる地球的課題の要因や影響をアジア州の地域的特色と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能なアジア州の発展に関心をもち、持続可能なアジア州の発展について主体的に考え、アジア州の発展に参画する態度を養っている。</li> </ul>	<p>授業プリント</p> <p>ワークシート</p> <p>課題レポート</p> <p>単元テスト</p> <p>定期考査</p>

			<p>○経済発展を目指す東南アジア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国とのかかわりの中で進んできた東南アジアの工業化の実態について理解する。</li> </ul> <p>○産業の発展と人口増加が急速に進む南アジア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南アジアの文化や産業の発展について、人口増加と関連させながら理解する。</li> </ul> <p>○資源が豊富な中央アジア・西アジア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西アジアや中央アジアの経済成長について、資源開発と関連させながら理解する。</li> </ul>				
11	第2節 ヨーロッパ州	6	<p>○ヨーロッパ州の自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形や気候を中心に、ヨーロッパ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</li> </ul> <p>○ヨーロッパ文化の共通性と多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を理解する。</li> </ul> <p>○EUの成り立ちとその影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州の国境をこえた結び付きに着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを考え、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州の地域的特色に関する地図や統計資料などの様々な資料を活用しながら、国家統合という主題を基に理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州の地域的特色について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現するとともに、今後予想されるEUの変化について学習内容を基に判断している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EUによる国家統合に対する関心を高め、ヨーロッパ州の地域的な特色を主体的に追究している。</li> </ul>	<p>授業プリント ワークシート 単元テスト 定期考査</p>

			<p>○ヨーロッパの農業とEUの影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州の工業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。</li> </ul> <p>○EUが抱える課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題やこれからのEUのあり方について考える。</li> </ul>				
12	第3節 アフリカ州	4	<p>○アフリカ州の自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤道をはさんで南北に広がる広大な範囲を概観し、地形や気候を中心に、アフリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</li> </ul> <p>○アフリカの歴史と文化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカの歴史やその影響を受けている産業の問題点について考え、表現する。</li> </ul> <p>○特定の輸出品に頼るアフリカの経済</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカの産業の実態や課題について、その変化に着目しながら理解する。</li> </ul> <p>○アフリカが抱える課題とその取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ各国が抱えている問題を理解し、そこからの脱却について考え、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州の地域的特色に関する地図や写真、グラフなどの様々な資料を活用しながら、アフリカの生活と変化という主題を基に特色を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州の地域的特色について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現するとともに、予想されるアフリカ州の変化について学習内容を基に判断している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州に対する関心を高め、地域的特色及び食糧問題や環境問題など地球的な課題を意欲的に追究している。</li> </ul>	授業プリント ワークシート 単元テスト 定期考査
12	第4節 北アメリカ州	6	<p>○北アメリカ州の自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形や気候を中心に、北アメリカ州の国々や自然な</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北アメリカ州に関する様々な資料を活用しながら、アメリカが産業や文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北アメリカ州の地域的特色について多面的・多角的に考察し、その過程や結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北アメリカ州に対する関心を高め、地域的特色及びグローバル化の影響など</li> </ul>	授業プリント ワークシート 単元テスト

		<p>どの基本的な特色を理解する。</p> <p>○移民の歴史と多様な民族構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北アメリカ州の民族構成や地域分布, 多様な文化について理解する。</li> </ul> <p>○大規模な農業と多様な農産物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカの農業の特色を資料から読み取り, 表現する。</li> </ul> <p>○世界をリードする工業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ合衆国の工業の発展と世界への影響について理解する。</li> </ul> <p>○アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ合衆国の人々の生活や文化の特色を理解し, 世界への影響や課題を考え, 表現する。</li> </ul>	<p>で世界に与える影響を主題として, 北アメリカ州の地域的特色を理解している。</p>	<p>を適切に表現するとともに, アメリカが世界に与える影響について学習内容を基に判断している。</p>	<p>地球的な課題を意欲的に追究している。</p>	<p>定期考査</p>
1	第5節 南アメリカ州	<p>6</p> <p>○南アメリカ州の自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形や気候を中心に, 南アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</li> </ul> <p>○多様な民族・文化と人々の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南アメリカの文化の特色をその国々の歴史的背景に着目しながら理解する。</li> </ul> <p>○大規模化する農業と成長する工業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南アメリカ州の農業や工</li> </ul>	<p>・南アメリカ州に関する様々な資料を活用しながら, アマゾンの森林開発と環境保護の両立を主題として, 南アメリカ州の地域的特色を理解している。</p>	<p>・南アメリカ州の地域的特色について多面的・多角的に考察し, その過程や結果を適切に表現するとともに, 持続可能な開発のあり方について学習内容を基に判断している。</p>	<p>・南アメリカ州に対する関心を持ち, 生物多様性や持続可能な開発など地球的な課題を意欲的に追究している。</p>	<p>授業プリント ワークシート 単元テスト 定期考査</p>

			業の発展の特色について、開発に着目しながら理解する。 ○ブラジルにみる開発と環境保全 ・アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、より良い地域の在り方について考え、表現する。				
1	第6節 オセアニア州	4	○オセアニア州の自然環境 ・地形や気候を中心に、オセアニア州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。 ○移民の歴史と多文化社会への歩み ・オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解する。 ○他地域と結び付いて発展する産業 ・オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業が変化した背景や要因を考え、表現する。	・オセアニア州に関する様々な資料を活用しながら、他地域との結び付きを主題として、オセアニア州の地域的特色を理解している。	・オセアニア州の地域的特色について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現するとともに、学習内容を基に判断している。	・オセアニア州に対する関心を高め、グローバル化の進展による他地域との結び付きの変化などの地球的な課題を追究している。	授業プリント ワークシート 単元テスト 定期考査
2 3	【歴史的分野】 第3編 中世の日本と世界 第1節 古代から中世へ	4	○武士の登場 ・律令制のおとろえの中での武士の地位の高まりをとらえ、武士がどのように力をつけていったのかについて考え、表現する。	・武士の政治への進出やユーラシア大陸の変化に着目して、鎌倉幕府の成立、元寇などを基に、天皇や貴族の政治との違いについて考えながら、武家政治の成立	・中世における政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色などについて、古代と中世との共通点や相違点に着目し、中世の学習の内容を比較したり関連付	・国際的な関わりの中で武家政治の成立と推移について主体的に追究するとともに、国家や文化の発展に対する関心を高めている。	授業プリント ワークシート 単元テスト 定期考査

	<p>第2節 鎌倉幕府の成立</p>	7	<p>○院政と平氏政権          ・摂関政治との比較などを通して院政の特徴を理解するとともに、社会状況の変化により武士が政治に関与し始めたことを理解する。</p> <p>○鎌倉幕府の政治          ・鎌倉幕府の政治のしくみをとらえ、武士による政治の基盤がつけられたことを理解する。</p> <p>○鎌倉時代の人々の暮らし          ・社会や人々の暮らしがどのように変化したかを、農業技術の進歩や商業の発達、貨幣経済の進展に着目して考え、表現する。</p> <p>○鎌倉時代の文化と仏教          ・当時の社会情勢の変化を背景として、新しい仏教が武家や民衆に広がったことを理解する。</p>	<p>の背景と推移、元寇の背景や国内に及ぼした影響について理解している。</p>	<p>けたりするなどして、その結果を考察するとともに、言葉や図で表現している。</p>		
	<p>第3節 室町幕府と下剋上</p>	7	<p>○元の襲来と鎌倉幕府          ・国内の戦いとのちがいによる御家人の窮乏などの課題をふまえて、鎌倉幕府がおとろえた理由について考え、表現する。</p> <p>○南北朝の動乱と室町幕府          ・京都で室町幕府が成立した過程について、南北朝の動乱を通して考え、表現する。</p> <p>・南北朝の動乱を通じて成長した守護大名について理</p>				

		<p>解する。</p> <p>○東アジアの交流と琉球王国の成立</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・14～15 世紀の東アジアでどのような交流が行われていたのかについて考え、表現する。</li><li>・中世の琉球の国際的な役割について、琉球の文化にもふれながら理解する。</li></ul> <p>○産業の発展と都市と村</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・産業の発展により、室町時代の人々の生活や意識がどのように変化したのかを考え、表現する。</li></ul> <p>○応仁の乱と戦国大名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・応仁の乱によって世の中が乱れ民衆たちが自分たちの生活を守るために自治をすすめ、各地で一揆が起こったことを理解する。</li></ul> <p>○室町時代の文化とその広がり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・室町時代の文化の特徴について、武家と公家や中国との関係をふまえて考え、表現する。</li></ul>				
--	--	--	--	--	--	--

月	単元	時数	学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	1章 整数の性質 1節 整数の性質 章の問題	3 1	素数でない数を素数の積で表し、約数や倍数を求めることができるようにする。	自然数、素数、素因数の意味を理解し、自然数を素因数分解することができる。	約数などの整数の性質を素因数分解によって捉え直すことができる。	整数の性質のよさに気づいて粘り強く考え、整数の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、整数の性質を使った問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。	定期考査 授業観察 提出物
4 5 6	2章 正の数、負の数 1節 正の数、負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法 4節 正の数、負の数の活用 章の問題	5 8 8 1 1	具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。	正の数、負の数の必要性和意味を理解し、正の数、負の数の四則計算をしたり、具体的な場面で正の数、負の数を使って表したり処理したりすることができる。	算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正の数、負の数の四則計算の方法を考察し表現したり、正の数、負の数を具体的な場面で使ったりすることができる。	正の数、負の数のよさに気づいて粘り強く考え、正の数、負の数について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、正の数、負の数を使った問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。	単元テスト 定期考査 授業観察 提出物
6 7 9	3章 文字と式 1節 文字を使った式 2節 文字を使った式の計算 3節 文字を使った式の活用 4節 数量の関係を表す式 章の問題	8 6 2 3 1	文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり、式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。	文字を使うことの必要性和意味を理解し、文字を使った式における乗法と除法の表し方を知り、簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。さらに、数量の関係や法則などを文字を使った式に表すことができることを理解し、数量の関係や法則などを式を使って表したり読みとったりすることができる。	具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。	文字を使うことのよさに気づいて粘り強く考え、文字を使った式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を使った式を用いた問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。	単元テスト 定期考査 授業観察 提出物

9 10	4章 方程式 1節 方程式とその解き方 2節 方程式の活用 章の問題	9 6 1	方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。	方程式の必要性と意味および方程式の中の文字や解の意味を理解し、簡単な方程式を解くことができる。	方程式の性質をもとにして、方程式を解く方法を考察し表現することができ、方程式を具体的な場面で使うことができる。	方程式のよさに気づいて粘り強く考え、方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、方程式を使った問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。	単元テスト 定期考査 授業観察 提出物
10 11	5章 比例と反比例 1節 関数 2節 比例 3節 反比例 4節 比例と反比例の活用 章の問題	3 6 5 4 1	具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。	関数関係や座標の意味、比例、反比例について理解し、比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。	比例、反比例としてとらえられる2つの数量について調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだしたり、比例、反比例を使って具体的な事象をとらえ考察し表現したりできる。	比例、反比例のよさに気づいて粘り強く考え、比例、反比例について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、比例、反比例を使った問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。	単元テスト 定期考査 授業観察 提出物
12 1	6章 平面図形 1節 平面図形の基礎 2節 作図 3節 図形の移動 4節 円とおうぎ形の計量 章の問題	4 7 3 3 1	観察、操作や実験などの活動を通して、見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。	垂直二等分線、角の二等分線、垂線などの基本的な作図の方法や、平行移動、回転移動、対称移動について理解することができる。	図形の性質に着目して基本的な作図の方法を考察し表現したり、図形の移動に着目して2つの図形の関係について考察し表現したり、基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用したりすることができる。	平面図形の性質や関係をとらえることのよさに気づいて粘り強く考え、平面図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、作図や図形の移動を使った問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。	単元テスト 定期考査 授業観察 提出物
1 2	7章 空間図形 1節 空間図形の基礎 2節 立体の見方と調べ方 3節 立体の体積と表面積	7 5 4	観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形についての理解を深めるとともに、図形の計量についての能力を伸ばす。	空間における直線や平面の位置関係を知り、おうぎ形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積や体積を求めることができる。	空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたり、立体図形の表面積や体積の求め方を	空間図形の性質や関係をとらえることのよさに気づいて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、空間図形の性質や関係を使った問題解決	単元テスト 定期考査 授業観察 提出物

	章の問題	1			考察し表現したりすることができる。	の過程をふり返って検討しようとしたりしている。	
2 3	8章 データの分析 1節 度数の分布 2節 データの活用 章の問題	10 1 1	目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。	ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解し、データを表やグラフに整理したり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解したりすることができる。	目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読みとり、批判的に考察し判断したり、多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読みとり表現したりすることができる。	ヒストグラムや相対度数、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率などのよさに気づいて粘り強く考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、問題解決の過程をふり返って検討しようとしたり、多面的にとらえ考えようとしたりしている。	単元テスト 授業観察 提出物
	予備	11					

月	単元	時数	学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4 5  4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の観察と分類のしかた</li> <li>植物の分類</li> <li>動物の分類</li> </ul>	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生物の観察</li> <li>果実をつくる花のつくり</li> <li>裸子植物と被子植物</li> <li>葉・根のつくり</li> <li>シダ植物とコケ植物</li> <li>さまざまな植物の分類</li> <li>せきつい動物と無せきつい動物の分類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルーペや顕微鏡の使い方を理解できる。</li> <li>植物の花のつくりや名称、役割を理解できる。</li> <li>果実をつくる植物のつくりについて理解できる。</li> <li>被子植物と裸子植物の相違点を理解できる。</li> <li>葉脈の模様の違いや根のつくりの違いについて理解できる。</li> <li>胞子でふえる植物と種子でふえる植物の生活史の違いを理解できる。</li> <li>せきつい動物と無せきつい動物の特徴を理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>果実をつくる植物のつくりを理解したうえで、果実がどのようにできるか説明できる。</li> <li>被子植物と裸子植物の相違点を説明できる。</li> <li>葉脈の模様の違いや根のつくりの違いから、分類できる。</li> <li>シダ植物とコケ植物の増え方と種子植物のふえ方の違いを説明できる。</li> <li>せきつい動物と無せきつい動物の分類を身体の特徴と合わせ表現できる。</li> </ul>	<p>植物や動物に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>単元テスト</li> <li>観察、実験レポート</li> <li>振り返りシート</li> </ul>
6 7 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>《身のまわりの物質》</li> <li>身の回りの物質とその性質</li> <li>気体の性質</li> </ul>	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属の性質</li> <li>プラスチックの性質</li> <li>気体の性質</li> <li>気体の発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属と非金属、各種のプラスチックの特徴と違いを理解できる。</li> <li>気体発生の実験結果からそれぞれの気体の性質をまとめ、理解できる。</li> <li>気体発生の実験操作を理解し、実験できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有機物と無機物の特徴から物質を分類することができる。</li> <li>気体の発生実験の結果を整理し、それぞれの気体の性質について考察できる。</li> </ul>	<p>植物や動物に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>単元テスト</li> <li>観察、実験レポート</li> <li>振り返りシート</li> </ul>

4 6 7 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水溶液の性質</li> <li>・物質の姿と状態変化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶けているとはどのようなことか</li> <li>・溶解度と溶解度曲線</li> <li>・濃度</li> <li>・再結晶</li> <li>・ろ過</li> <li>・蒸留</li> <li>・状態変化と温度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メスシリンダー、ガスバーナーを正しく使うことができる。</li> <li>・溶解度をグラフから読み取ることができる。</li> <li>・質量パーセント濃度の計算ができる。</li> <li>・ろ過、蒸留、再結晶の実験操作を理解し、実験できる。</li> <li>・再結晶による物質の分離について、その量的関係を理解できる。</li> <li>・物質の三態変化について沸点と融点から特定の温度での状態を表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶解、溶液、溶質の用語を正しく使い水溶液の特徴を正しく説明できる。</li> <li>・水溶液の状態を粒子のモデルで考え、表現することができる。</li> <li>・物質の三態変化について沸点と融点から特定の温度での状態を表現することができる。</li> <li>・物質の状態について粒子のモデルで考え、表現することができる。</li> </ul>		
10 11 12 1 2 3	<p>《身のまわりの現象》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光の世界</li> <li>・音の世界</li> </ul>	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光とはなにか</li> <li>・光の屈折と反射</li> <li>・レンズと像</li> <li>・音とはなにか</li> <li>・音の伝わり方</li> <li>・共鳴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光の進み方や基本性質を理解できる。</li> <li>・実像と虚像について違いを理解できる。</li> <li>・音などの共鳴について、原理を理解できる。</li> <li>・音の大きさや高低の違いが振動数や振幅の大きさの違いであることを理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光が屈折や反射するときにお光の進み方について考え、説明できる。</li> <li>・実像と虚像のでき方を作図で表現できる。</li> <li>・音の大小や高低の違いを、振動数や振幅の違いであることを理解し、その違いを表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光・音・力に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・観察、実験レポート</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・力の世界</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・力とはなにか</li> <li>・重力</li> <li>・質量と重さ</li> <li>・力の表し方</li> <li>・バネの伸びと力</li> <li>・力のつり合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・力による物体の変化を通して力の三要素を理解できる。</li> <li>・重さと質量の違いを明確に理解できる。</li> <li>・2力のつり合う条件を理解できる。</li> <li>・力の大きさとバネの伸びの関係をグラフから読み取り、比例の関係であることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で力がどのようなはたらきをするか</li> <li>・力の大きさとバネの伸びの関係をグラフから読み取り、比例の関係にあることを説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・観察、実験レポート</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>	
7 9 10 11 12 1 2 3	<p>《大地の変化》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火をふく大地</li> <li>・動き続ける大地</li> <li>・大地の変化を読みとる大地の変化</li> </ul>	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火山とマグマ</li> <li>・火成岩とそのできかた</li> <li>・マグマと噴火</li> <li>・地震のおこる原因</li> <li>・地震のゆれの伝わり方</li> <li>・地震と災害</li> <li>・岩石の風化と流水作用</li> <li>・地層の重なり</li> <li>・堆積岩のでき方と特徴</li> <li>・示相化石と示準化石</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火成岩の2種類（火山岩、深成岩）の観察を積極的に行える。</li> <li>・地震に伴う災害とその対応について理解できる。</li> <li>・プレートの移動について理解できる。</li> <li>・断層や褶曲のでき方や地形の特徴を理解できる。</li> <li>・示相化石と示準化石の代表的なものとその示す環境や地質年代を理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マグマの性質と、火山の形や噴火の特徴を関連づけて考えることができる。</li> <li>・火成岩の名称および、特徴と成因を関連づけて考えることができる。</li> <li>・S波 P波の違いと、その進み方を示すグラフから震源までの距離や地震の規模について説明できる。</li> <li>・地震の原因とプレートの関連づけた考えをもつ。</li> <li>・流水の三作用について理解し、表現することができる。</li> <li>・堆積岩の作りと成因について関連づけて説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大地の変化に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>・火山の恩恵と、自然災害の両方について学び自然を総合的に理解し、自然を大切に、活用する姿勢をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・観察、実験レポート</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>

令和6年度 英語科 1学年 年間指導・評価計画

月	単元	時数	学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	Unit 0  Welcome to Junior High School □小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりすることができる。	6	小学校で習った表現を使って、自分と相手のことについてやり取りすることができる。 アルファベットの知識をもとに、単語を読んだり書き写したりすることができる。	[知識] 小学校で習った英語表現の意味・用法を理解している。(L・SI) [技能] 小学校で習った英語表現の理解をもとに、あいさつや好きなもの、入りたい部活動などを伝え合ったり、先生の指示を聞き取ったりする技能を身に付けている。(L・SI)	初対面の相手と知り合うために、好きなもの、入りたい部活動などについて、小学校で習った英語表現を用いて、おたがいの考えや気持ちなどを伝え合っている。(SI)	初対面の相手と知り合うために、好きなもの、入りたい部活動などを伝え合ったり、先生の指示を聞き取ってそれに合わせて動いたりしようとしている。(L・SI)	ワークブック リスニングテスト 単元テスト パフォーマンステスト（スピーチ、対話） 音読テスト 定期テスト 授業内の取り組みやワークシート
	学び方コーナー①	1	英和辞書の見出し語配列について知り、基本的な使い方理解する。	[知識] 英和辞書の見出し語配列について理解している。 [技能] 英和辞書の見出し語配列についての知識をもとに、辞書で単語をひく技能を身に付けている。		英和辞書の見出し語配列について知り、基本的な使い方を理解しようとしている。	
5	Unit 1  New School, New Friends □自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。	8	おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて伝え合うことができる。	[知識] 一人称のbe動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [技能] 名前や好きなものなどについて、be動詞や一般動詞を用いてコミュニケーションを行う技能を身に付けている。(L・R・SI・SP・W)	おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、自分の考えや気持ちを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり発表したりしている。(SI・SP)	おたがいのことをよりよく知るために、出身地や好きなスポーツなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしようとしている。(L・R・SI・W)	

				<p>[知識] 助動詞 can を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W)</p> <p>[技能] できることやできないことについて、助動詞 can などを用いてコミュニケーションを行う技能を身に付けている。(L・R・SI・W)</p>	<p>おたがいのことをよりよく知るために、できることやできないことについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。(SI)</p>		
Unit 2 	Our New Teacher □身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。	1	相手に紹介する場面で、身近な人やものについて話すことができる。	<p>[知識] This [That, He, She] is …. の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 身近な人やものについて、This [That, He, She] is …. の文などを用いてコミュニケーションを行う技能を身に付けている。(L・R・SI・SP・W)</p>	<p>相手に紹介する場面で、身近な人やものについて、簡単な語句や文を用いて情報を即興で伝え合ったり話したりしている。(SI・SP)</p>	<p>相手に紹介する場面で、身近な人やものについて、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションを行おうとしている。(L・R・SI・SP・W)</p>	
5	Grammar for Communication 1	2	be 動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	<p>[知識] be 動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 自分や相手、身近なものについて、be 動詞や一般動詞を用いて、状態や習慣などを伝える技能を身に付けている。</p>			
	学び方コーナー②	1	つづりと発音の関係を理解し、知らない単語の読み方を推測することができる			<p>[態] つづりと発音の関係を理解し、知らない単語の読み方を推測しようとしている。</p>	

			る。				
	Unit 3  Club Activities □いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。	1	疑問に思うことを知るために、場所や時についてたずねたり答えたりすることができる。	[知識] 疑問詞 where や when を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) [技能] 場所や日時について、疑問詞 where や when などを用いてコミュニケーションを行う技能を身に付けている。(L・R・SI・W)	思疑問に思うことを知るために、場所や日時について、簡単な語句や文を用いて情報を即興でたずねたり答えたりしている。(SI)	疑問に思うことを知るために、場所や日時について、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションを行おうとしている。(L・R・SI・W)	
6	Grammar for Communication 2	1	名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[知識] 名詞の形・意味・用法を理解している。 [技能] ものの数などに合わせて、名詞を正しい形で用いる技能を身に付けている。			
	Unit 4  Friends in New Zealand □相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりすることができる。	8	相手の状況に合わせて、指示や助言をすることができる。	[知識] 命令文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) [技能] 相手に対する指示や助言などについて、命令文などを用いてコミュニケーションを行う技能を身に付けている。(L・R・SI・W)	道案内などをするために、相手がいる場所や状況を考えて、簡単な語句や文を用いて、即興で指示や助言をしている。(SI)	道案内などをするために、相手がいる場所や状況を考えて、簡単な語句や文を用いて、即興でコミュニケーションを行おうとしている。(L・R・SI・W)	
		2	現在の時刻を確認したり、相手の毎日の習慣などについて時刻をたずねたり答えたりすることができる。				
	Grammar for Communication 3	1	疑問詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を	[知識] 疑問詞を用いた文の形・意味・用法を理解し			

			確かめる。	ている。 [技能] たずねたい内容に応じて、疑問詞を正しく使い分ける技能を身に付けている。			
	Unit 5  A Japanese Summer Festival □行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話すことができる。	1	ものの場所や人の位置を伝えるために、どこにあるか・どこにいるかを説明することができる。	[知識] 前置詞の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) [技能] ものの場所や人の位置について、場所を表す前置詞などを用いてコミュニケーションを行う技能を身に付けている。(L・R・SI・W)	ものの場所や人の位置を伝えるために、どこにあるか・どこにいるかについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合っている。(SI)	ものの場所や人の位置を伝えるために、どこにあるか・どこにいるかについて、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションを行おうとしている。(L・R・SI・W)	
7	Grammar for Communication 3	2	疑問詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[知識] 疑問詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] たずねたい内容に応じて、疑問詞を正しく使い分ける技能を身に付けている。			
9	Unit 5  A Japanese Summer Festival □行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話すことができる。	8	ものの場所や人の位置を伝えるために、どこにあるか・どこにいるかを説明することができる。	[知識] 前置詞の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) [技能] ものの場所や人の位置について、場所を表す前置詞などを用いてコミュニケーションを行う技能を身に付けている。(L・R・SI・W)	ものの場所や人の位置を伝えるために、どこにあるか・どこにいるかについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合っている。(SI)	[態度] ものの場所や人の位置を伝えるために、どこにあるか・どこにいるかについて、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションを行おうとしている。(L・R・SI・W)	
	Stage Activity 1	2	自分の好きなことについて	[知識] Unit 5 までの学習	自分のことを知ってもら	自分のことを知ってもら	

	<p>“All about Me” Poster</p> <p>□自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。</p>		<p>て、つながりのある文章を書くことができる。2</p>	<p>事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(R・SI・W)</p> <p>〔技能〕自分が好きなことについて、読んだ内容を参考に情報を整理し、Unit 5までの学習事項を用いて、つながりのある文章を書く技能を身につけている。(R・SI・W)</p>	<p>ために、自分が好きなことについて、情報を整理してつながりのある文章でポスターを書き、おたがいに読んで感想を伝え合っている。(R・SI・W)</p>	<p>うために、自分が好きなことについて、情報を整理してつながりのある文章でポスターを書こうとし、おたがいに読んで感想を伝え合おうとしている。(R・SI・W)</p>
	Small Talk! 1					
10	<p>Unit 6</p> <p>A Speech about My Brother</p> <p>□自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。</p>	6	<p>家族などが好きなことを聞き取ったり、いっしょにすることなどについて話したりすることができる。家族や身近な人について聞き手に伝えたり、どのような人かを知るために話の概要を捉えたりすることができる。家族や身近な人がすることなどについて聞き手に伝えたり、どのようなことをしている人かを知るために話の概要を捉えたりすることができる。友達の家族などがどのような人かを知るために、対話の概要を捉え、その情報に追加してたずねたり書いたりすることができる。</p>	<p>〔知識〕名前や得意なことを伝える表現や、自分と相手以外の人について話す文の意味を理解している。(L・SP)</p> <p>〔技能〕家族などについて名前や得意なことを話したり、家族などが好きなことを聞き取ったりする技能を身に付けている。(L・SP)</p>	<p>家族や身近な人がどのような人かを知るために、その人についてのスピーチを聞いたり読んだりして、概要を捉えている。(L・R)</p>	<p>家族などについて聞き手に知ってもらうために、名前や得意なことについて話そうとしたり、相手の家族などについて知るために、その好きなことなどについて聞き取ったりしようとしている。(L・SP)</p>

	Let' s Talk 1 お願い □身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。	1	身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。	[知識] 身近な人に許可を求める表現や依頼する表現の意味や働きを理解している。(SI) [技能] 自分がしたいことや相手に頼みたいことについて、身近な人に許可を求める表現や依頼する表現を用いて伝えたり、答えたりする技能を身に付けている。(SI)	思 したいことや頼みたいことを伝えるために、その場の状況を考えながら、身近な人に許可を求めたり依頼したり、それに適切に応答したりしている。(SI)	態 したいことや頼みたいことを伝えるために、その場の状況を考えながら、身近な人に許可を求めたり依頼したり、それに適切に応答したりしようとしている。(SI)	
	学び方コーナー③	1	英和辞書から英文に合った単語の意味を見つけるための使い方を理解する。	[知識] 自分と相手以外の人について伝える文や、その人についてたずねる文の意味を理解している。(L・SI) [技能] 自分と相手以外の人何が何をする人かを聞き取ったり、その人についてたずねたり答えたりする技能を身に付けている。(L・SI)		態 自分と相手以外の人を知するために、その人が何をする人かを聞き取ったり、その人についてたずねたり答えたりしようとしている。(L・SI)	
	Grammar for Communication 4	1	三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。				
11	Unit 7 Foreign Artists in Japan □自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのもの	8	自分と相手以外の人何が何をする人かを聞き取ったり、質問したりすることができる。	[知識] 三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 家族や身近な人について、その人がしていることや好きなものを、三人	自分と相手以外の外国人などがどのような人かを知るために、その人についてのスピーチを聞いたり読んだりして、概要を捉えている。	自分と相手以外の人を知するために、その人が何をする人かを聞き取ったり、その人についてたずねたり答えたりしようとしている。(L・SI)	

	かをたずねたりすることができる。			称単数現在形を用いて表現する技能を身に付けている。	(L・R)		
	Let's Talk 2 体調 □相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。	1	相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。	[知識] 体調をたずねたり、体の不調を説明したりする表現の意味や働きを理解している。(SI) [技能] 相手や自分の体調について、たずねたり説明したりする表現を用いて、伝え合ったり、指示をしたりする技能を身に付けている。(SI)	体調不良という場面に対応するために、自分の体調を伝えたり、相手に声をかけたり、適切に応答して指示をしたりしている。(SI)	体調不良という場面に対応するために、自分の体調を伝えたり、相手に声をかけたり、適切に応答して指示をしたりしようとしている。(SI)	
	Let's Listen 1 留学生のプロフィール □人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。	1	人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。	[知識] 人を紹介する表現の意味や働きを理解している。(L・W) [技能] 人を紹介する表現の意味や働きの理解とともに、留学生についての紹介を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。(L・W)	留学生がどのような人かを理解するために、その人の基本情報や好きなスポーツなどについて、必要な情報を聞き取ったり、アドバイスを書いたりしている。(L・W)	留学生がどのような人かを理解するために、その人の基本情報や好きなスポーツなどについて、必要な情報を聞き取ったり、アドバイスを書いたりしようとしている。(L・W)	
12	Grammar for Communication 5	1	代名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[知識] 代名詞の形・意味・用法を理解している。 [技能] 人やものについて話題を展開する際に、適切な代名詞を使い分ける技能を身に付けている。			
	Unit 8 A Surprise Party □今していることについて	6	誕生日にほしいものを伝えたり、電話での会話から相手がしていることを聞	[知識] 誕生日にほしいものをたずねる表現や、今していることを伝える文の	だれかが今していることを知るために、現在の動作について、聞いたり読んだ	[態度] 相手が誕生日にほしいものや相手が今していることを知るために、情報をたずねたり答えたり、	

	て説明したり、たずねたりすることができる。		き取ったりすることができる。	意味を理解している。(L・SI) [技能] 誕生日にほしいものをたずねたり答えたり、相手が今していることを聞き取ったりする技能を身に付けている。(L・SI)	りして情報を捉えている。(L・R)	聞き取ったりしようとしている。(L・SI)	
	Let's Write 1 お祝い <input type="checkbox"/> 目的に合わせたカードを書くことができる。	1	目的に合わせたカードを書くことができる。	[知識] グリーティングカードの基本的な構成や表現を理解している。(R・W) [技能] お祝いのカードを読んで理解し、カードの構成や表現の理解をもとに、お礼のカードを書く技能を身に付けている。(R・W)	グリーティングカードを読んで必要な情報を捉え、カードを送る目的や相手のことを考えてお礼のカードを書いている。(W)	グリーティングカードを読んで必要な情報を捉え、カードを送る目的や相手のことを考えてお礼のカードを書こうとしている。(R・W)	
	学び方コーナー④	1	英語の子音の文字と音との関係を知り、英語らしい発音をすることができる。			日本語の子音との違いに注意しながら、英語の子音の文字と音との関係を知り、英語らしい発音をしようとしている。	
	Grammar for Communication 6	1	現在進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[知識] 現在進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 現在の動作や状況について、現在進行形を用いて今していることを伝える技能を身に付けている。			
1	Unit 9 Think Globally, Act Locally <input type="checkbox"/> したいことや、する必要のあることなどにつ	8	したいことやしようとしていることを説明することができる。	[知識] 世界の子供たちが今していることや、自分たちがしたいことについて伝える文の意味を理解している。(L・SI)	将来の夢や希望を伝えるために、したいことやしようとしていることについて、聞いたり読んだりして情報を捉えている。(L・R)	世界の子供たちの実情を知り、将来の夢や希望を伝えるために、今していることやしたいことをたずね合ったり聞き取ったりし	

	いて説明したり、たずねたりすることができる。			[技能] 世界の子供たちなどが今していることや、自分たちがしたいことをたずね合ったり聞き取ったりする技能を身に付けている。(L・SI)		ようとしている。(L・SI)	
Let's Talk 3 道案内 □徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。	1	徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。	[知識] 徒歩での道順をたずねたり、教えたりする表現の意味や働きを理解している。(SI) [技能] 地図を見て状況を整理し、徒歩での道案内の表現を用いて、道をたずねたり教えたりする技能を身に付けている。(SI)	思 相手が目的地へたどり着けるように、地図を見て状況を整理し、適切に道案内のやり取りをしている。(SI)	相手が目的地へたどり着けるように、地図を見て状況を整理し、適切に道案内のやり取りをしようとしている。(SI)		
Let's Listen 2 欠席した友達への電話連絡 □友達にあとで伝えるべき情報を聞き取ることができる。	1	友達にあとで伝えるべき情報を聞き取ることができる。	[知識] 伝えるべき情報を聞き取る方法を理解している。(L) [技能] 伝えるべき情報を聞き取る方法の理解をもとに、持ち物などについての話を聞いて、内容を聞き取る技能を身につけている。(L)	友達に情報を伝えるために、持ち物などについての話を聞いて、必要な情報を捉えたりメモを取ったりしている。(L)	友達に情報を伝えるために、持ち物などについての話を聞いて、必要な情報を捉えたりメモを取ったりしようとしている。(L)		
Stage Activity 2 My Hero □好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。	2	好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。	[知識] Unit 9までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) [技能] 好きな有名人についてUnit 9までの学習事項を用いて、どんな人かを理	好きな有名人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、紹介する文章を書いたりしている。(L・R・SI・W)	好きな有名人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、紹介する文章を書いたりしようとしている。(L・R・SI・W)		

				解したり、有名人についてたずねたり説明したりする技能を身に付けている。 (L・R・SI・W)		
	Let' s Read 1 Let' s Climb Mt. Fuji □図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。	2	図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。	[知識] 図や表などの情報をもとにした文章の読み方を理解している。(R) [技能] 図や表などの情報をもとにして、まとまりのある文章の内容を読み取る技能を身に付けている。(R)	書き手の考えを理解して適切な助言などができるように、図や表などの情報をもとに、まとまりのある文章の概要を読み取っている。(R)	書き手の考えを理解して適切な助言などができるように、図や表などの情報をもとに、まとまりのある文章の概要を読み取ろうとしている。(R)
	Small Talk! 2	1				
2	Unit 10 Winter Vacation □過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。	8	過去にしたことを伝え合うことができる。	[知識] 毎年していることや、過去の出来事について伝える文の意味を理解している。(L・SI) [技能] 毎年していることや、過去の出来事について、たずね合ったり聞き取ったりする技能を身に付けている。(L・SI)	旅行の思い出などを知るために、過去にしたことについて、聞いたり読んだりして概要を捉えている。 (L・R)	相手の冬休みについて知るために、毎年していることや過去の出来事をたずね合ったり聞き取ったりしようとしている。(L・SI)
	Let' s Write 2 旅先からの便り □旅先からの絵はがきを書くことができる。	1	旅先からの絵はがきを書くことができる。	[知識] 絵はがきの基本的な構成や表現を理解している。(R・W) [技能] 絵はがきを読んで理解したり、絵はがきの構成や表現の理解をもとに、旅先からの絵はがきを書いたりする技能を身に付けている。(R・W)	絵はがきを読んで概要を捉えたり、カードを送る目的や相手のことを考えて旅先からの絵はがきを書いたりしている。(R・W)	絵はがきを読んで概要を捉えたり、カードを送る目的や相手のことを考えて旅先からの絵はがきを書いたりしようとしている。(R・W)

Unit 11 This Year's Memories □過去の状態や気持ち、過去の ある時点にしていた ことについて説明する ことができる。	6	過去の状態や気持ちなど を伝え合うことができる。	[知識] 一年の思い出を伝 える文の意味を理解して いる。(L・SI) [技能] 一年の思い出につ いて、したことを伝え合 ったり、そのときの状態や気 持ちを聞き取ったりする 技能を身に付けている。 (L・SI)	相手の一年の思い出など を知るために、過去の状態や 気持ちについて、聞いたり 読んだりして概要を捉えて いる。(L・R)	一年の思い出を伝え合う ために、したことやその時 の状態や気持ちについて、 簡単な語句や文を用いて 伝え合ったり、聞き取っ たりしようとしている。(L・ SI)	
Let's Talk 4 レストラン □レストランなどで、注 文をしたり質問に答え たりすることができる。	1	レストランなどで、注文を したり質問に答えたりす ることができる。	[知識] レストランなどで 注文をしたり質問に答え たりする表現の意味や働 きを理解している。(SI) [技能] レストランでの食 事の注文の際に、注文をし たり質問に答えたりする表 現を用いて、状況に合わせ て食事の場面の対話をする 技能を身に付けている。 (SI)	レストランで食事をする ことができるように、自分 が注文したいものを伝え たり、質問に的確に答え たりしている。(SI)	レストランで食事をする ことができるように、自分 が注文したいものを伝え たり、質問に的確に答え たりしようとしている。(SI)	
Let's Listen 3 ラジオDJのトーク □休暇の思い出など日常 的な話を聞いて、主な 内容を聞き取ることが できる。	1	休暇の思い出など日常的 な話を聞いて、主な内容を 聞き取ることができる。	[知識] 思い出などにつ いて話される表現の意味や 働きを理解している。(L・ SI) [技能] 思い出などにつ いて話される表現の意味や 働きの理解をもとに、過去 に行った場所や体験した ことなどについて、内容を 聞き取る技能を身に付け ている。(L・SI)	ラジオ番組でのDJの休暇 中の体験やリスナーとの やり取りを聞いて、話の概 要を聞き取ったり答え たりしている。(L・SI)	ラジオ番組でのDJの休暇 中の体験やリスナーとの やり取りを聞いて、話の 概要を聞き取ったり答え たりしようとしている。 (L・SI)	

	Grammar for Communication 7	2	過去形と過去進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	<p>[知識] 過去形と過去進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 過去の出来事や状態について、過去形や過去進行形を用いて、過去にしたことやしていたことを伝える技能を身に付けている。</p>			
3	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year □思い出に残った学校行事について発表することができる。	2	思い出に残った学校行事について発表することができる。	<p>[知識] Unit 11までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 思い出に残った学校行事について、Unit 11までの学習事項を用いて発表する技能を身に付けている。(L・SI・SP・W)</p>	思い出に残った学校行事について、情報を整理したり感想を考えたりしながら原稿を作成し、発表のポイントを意識して話している。(L・SI・SP・W)	思い出に残った学校行事について、情報を整理したり感想を考えたりしながら原稿を作成し、発表のポイントを意識して話そうとしている。(L・SI・SP・W)	
	Learning <i>LITERATURE</i> in English		英語で書かれた文学作品を聞いて話の概要を捉え、物語の構成を理解することができる。	<p>[知識] 物語の文章構成を理解している。(L・R)</p> <p>[技能] 文章構成の理解をもとに、物語のあらすじを聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。(L・R)</p>	物語のあらすじを理解するために、物語の文章構成を意識することで話の概要を捉えたり、話の続きを考えたりしている。(L・R・SP)	物語のあらすじを理解するために、物語の文章構成を意識することで話の概要を捉えたり、話の続きを考えたりしようとしている。(L・R・SP)	

月	単元	時数	学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4 ～ 10	<p>音楽の約束について</p> <p>校歌の歌詞と旋律を確認しよう (歌唱・鑑賞)</p> <p>音楽の特徴から情景を想像しよう (鑑賞)</p> <p>詩の内容と曲想との関りを感じ取ろう (鑑賞)</p>	前期 23	<p>・音符や休符など、教科書や楽譜によく出てくる音楽のきまりを覚える。</p> <p>・音源を聞きながら校歌の歌詞と旋律を覚える。</p> <p>・ソネットを手掛かりに曲想の変化を感じとる。 【春】</p> <p>・詩の内容を理解して場面の様子を想像しながら聴き、特徴を感じ取る</p>	<p>【知】音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>【技】創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p>	<p>【思】リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている</p> <p>【思】音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【思】音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について</p>	<p>【態】音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態】曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 ワークシート 鑑賞文 実技テスト 定期考査 (前期)</p>

	<p>曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう(器楽)</p> <p>明るい歌声で歌おう(歌唱)</p>	<p>・登場人物の旋律の雰囲気や歌い方の違いを感じ取る。【魔王】</p> <p>・曲想と音楽構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。</p> <p>・歌詞の内容や曲想を感じ取る。 ・自分の歌声に留意しながら新しい仲間と表現を工夫して歌う。 【校歌 など】</p>	<p>【知】曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聞きながら他者と合わせて演奏する技術を身に着け、器楽で表している。</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>て自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>【思】音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【思】音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>【態】曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
10 3	<p>アジア各地の音楽のよさを味わおう(鑑賞)</p>	<p>後期 22</p> <p>・声や楽器の音色、リズム、速度、旋律に注目し、特徴を感じ取る。 【世界の諸民族の音楽】</p>	<p>【知】音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴か</p>	<p>【思】音色、リズム、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や</p>	<p>【態】音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、そ</p>	<p>観察 ワークシート 鑑賞文 実技テスト 定期考査 (後期)</p>

	<p>明るい歌声で歌おう (歌唱)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想を感じ取る。</li> <li>・自分の歌声に留意しながら新しい仲間と表現を工夫して歌う。 【校歌 など】</li> </ul>	<p>ら生まれる音楽の多様性について理解している。</p> <p>【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>【技】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付け, 歌唱で表している。</p>	<p>社会における音楽の意味や役割, 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>【思】 音色, 旋律, 強弱を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【思】 リズム, 旋律, 強弱, 形式を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【思】 音色, リズム, 旋律, テクスチャ, 形式を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, どのように歌うか</p>	<p>の特徴から生まれる音楽の多様性に関心を持ち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態】 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心を持ち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌</p>	
	<p>日本の歌の美しさを味わおう (歌唱)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の朗読をし, 情景を思い浮かべながらこめられた思いを歌う。</li> <li>・旋律のまとまりや強弱に気をつけて歌う。 【赤とんぼ など】</li> </ul>	<p>【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>【技】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付け, 歌唱で表している。</p>			
	<p>日本の民謡に親しもう (鑑賞)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の民謡の特徴を感じ取る。</li> </ul>	<p>【知】 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。</p> <p>【技】 創意工夫を生かした表</p>			

	<p>日本の伝統音楽に親しもう (器楽・鑑賞)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箏の音色と余韻の変化を生み出す奏法に注目し、特徴を感じ取る。</li> <li>・旋律や速度の変化の特徴を感じとる。 (鑑賞)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴を知り、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。</li> <li>・その楽器に合った音色や奏法を工夫し表現する。 (器楽)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きを捉え、仲間と表現を工夫し合唱する。 <b>【式歌】</b></li> </ul>	<p>現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。</p> <p>[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方</p>	<p>について思いや意図をもっている。</p> <p>[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[思] 音色、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもって</p>	<p>唱の学習活動に取り組もうとしている</p> <p>[態] 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>[態] 音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
--	---------------------------------	--	---	---	--	--

			などの技能, 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け, 歌唱で表している。	いる。		
--	--	--	---	-----	--	--

月	単元		時数	学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	技術分野のガイダンス		2	技術の発展による生活や産業の変化を調べる。			3学年間の技術分野の学習に見通しを持つようとしている。	授業観察 学習プリント 定期考査
	5	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	身の回りの材料と加工の技術	1	身の回りの製品を見て、なぜその材料が使われているか知る。	身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。		
木材、金属、プラスチックの特性			1	木材、金属、プラスチックの特性について調べる。	木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。			
丈夫な製品を作るために			1	部材の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。	部材の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。			
材料と加工の技術の工夫を読み取る			1	材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考える。		材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。		
6	材料と加工の技術による問題解決	問題を発見し、課題を設定しよう	1	発見した問題を解決するための課題を設定する。		「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。	
		製作品を構想し、設計しよう	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を解決するために、使用目的や使用条件に合わせて、製作品の構想を具体化する。</li> <li>製作品の構想を製作に必要な図に表す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作に必要な図の描き方を理解している。</li> <li>製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。</li> </ul>	材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。		
7								

7	製作の計画を立てよう	1	製作工程表を作成する。		構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。	
9	作業手順を考えて製作しよう	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り代や削り代を見込んで、仕上がり寸法線と切断線をけがく。</li> <li>・材料を切断線に従って切断する。</li> <li>・寸法線に従って加工する。</li> <li>・加工後、検査・修正し、仮組み立てをする。</li> <li>・組み立てをする。組み立て後、検査・修正する。</li> <li>・素材や用途に合った表面処理をする。</li> </ul>	安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。		他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。
10						
	問題解決の評価、改善・修正	1	材料と加工の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。		製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。	自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
11	社会の発展と材料と加工の技術	1	自分の問題解決における最適化の場を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。	材料と加工の技術の概念について理解している。	材料と加工の技術の最適化について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
		1	持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について考える。		よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。	
						授業観察 学習プリント 作品 振り返りシート 定期考査
						授業観察 学習プリント

		情報の技術とは何だろう	1	コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについてまとめる。	情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。			
12	情報の技術の原理・法則と仕組み	情報のデジタル化	1	コンピュータは全ての情報を数値化して処理していることを知る。	情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。		主体的に情報の技術について考えようとしている。	授業観察 学習プリント 定期考査
		情報通信ネットワークの仕組み	1	情報通信ネットワークの仕組みについてまとめる。	情報通信ネットワークの構成について理解している。			
		安全に利用するための情報モラル	1	情報の特性について考え、情報が社会に与える影響について調べる。	情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。			
		安全に利用するための情報セキュリティ	1	情報セキュリティを実現するための3つの要素を知る。	情報セキュリティの基本的な知識について理解している。		情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。	
1		情報の技術の工夫を読み取ろう	1	身近なシステムや自動化の技術の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。		情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。		
		双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう	1	双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みについて考える。		主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。		授業観察 学習プリント
2		問題を発見し、課題を設定しよう	1	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決できる問題を見つける。		「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。		作品 振り返りシート 定期考査

3	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	コンテンツを構想しよう	1	問題を解決するためのコンテンツに必要な情報を収集し、解決策を具体化する。		使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
		コンテンツのプログラムを制作しよう	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。</li> <li>使用する人のことを考えてプログラムを制作する。</li> </ul>	安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。	情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。	他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。
		問題解決の評価、改善・修正	1	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。		コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。	自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。

月	単元	時数	学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	家庭分野ガイダンス	2	中学生としての自立	自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。	自立に向けて中学生の自分のできることを考え工夫している。		ハンドノート ワークシート レポート 行動観察 定期考査
			私たちの生活と家族・家庭のはたらき	自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。			
5	食事の役割と中学生の栄養の特徴	4	食事の役割	生活の中で食事が果たす役割について理解している。		自分の食習慣について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	
			健康によい食習慣	健康によい食習慣について理解している。	自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。		
			栄養素の種類とはたらき	栄養素の種類とはたらきについて理解している。			
			中学生の栄養の特徴	中学生に必要な栄養の特徴について理解している。			
6	中学生に必要な栄養を満たす食事	6	食品に含まれる栄養素	身近な食品の栄養的特質について理解している。	食品の栄養的特質について調べ、まとめることができる。	中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	
			中学生の1日に必要な食品の種類と概量	中学生の1日に必要な食品の種類と概量を理解している。			
			中学生に合わせた1日分の献立の工夫	中学生の1日に必要な食品の種類と概量を考え、1日分の献立を立てることができる。	よりよい食生活に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴、中学生に必要な栄養を満たす食事について工夫・創造し実践しようとしている。		
7	衣服の選択と手入れ	5	衣服のはたらき	衣服の社会生活上のはたらきについて理解している。		ワークシート ハンドノート 行動観察 献立表 定期考査	
			目的に応じた着用と個性を生かす服装	個性を生かす着用について理解している。	自分らしい着方を考え工夫している。		目的に応じた着用を踏まえ、自分らしい着方を工夫創造
9						実技テスト	

						し、実践しようとしている。	定期考査
			衣服の計画的な活用と選択	衣服の計画的な活用、衣服の品質表示を理解し衣服の手入れについてまとめられる。			
			衣服の手入れ	衣服の状態に応じた補修の方法について理解しているとともに適切にできる。		材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取組み生活を工夫し実践しようとしている。	
10 11	生活を豊かにするための布を用いた製作	8	生活を豊かにする工夫			生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画について生活を工夫創造し実践しようとしている。	ワークシート ハンドノート 作品 製作計画表 行動観察 定期考査
			布を用いた物の製作	用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。製作する物に適した材料や縫い方について理解している。	生活を豊かにするための布を用いた物を工夫し計画を立てることができる。		
12 1	生活課題と実践	4	衣生活・食生活の課題・実践・まとめ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な衣生活を目指して、課題とその解決方法について考え、区付している。</li> <li>・中学生の1日分の献立について、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</li> </ul>		
2 3	住まいの役割と安全な住まい方	6	住まいの役割	住居の基本的な機能について理解している。			ワークシート ハンドノート
			家族の生活と住空間のかかわり	家族の生活と住空間との関わりについて理解している。			レポート 行動観察
			快適で安全な住まい (家庭内事故、災害への対策)	家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・家庭内事故の予防や対策、	・家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について考え工夫している。		定期考査

			自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方を理解している。			
		持続可能な住生活を目指して		持続可能な住居を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。	よりよい住生活を目指して、工夫創造し実践しようとしている。	

月	単元	時数	学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	○オリエンテーション 美術との出会い	1	・中学校の美術について知る			・中学校の美術の表現及び鑑賞の幅広い学習活動に興味を持つ。	毎時間の制作態度 学習プリント 学習カード アイディアスケッチ 作品 定期考査
5	○見つめると見えてくるもの 「鉛筆デッサン」	2	・身近なものをよく見たりして、特徴を捉え、主題を生み出す。	・線の強弱や鉛筆の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表そうとする。	・形や質感、全体と部分の関係などを考え、構想を練っている。	・積極的に対象を観察し、描写しようとする。	
6	○色彩の学習 「色相環」 「色の感情効果」 「色の混色、色光の混色」	4	・色の三要素や三原色の混色についての基礎的な知識を学習し、色についての関心を高める。	・色相環を絵の具を使って塗ることにより、絵の具の用具や水分量など使い方を身に付ける。	・色の三属性や明清色、暗清色、濁色などの混色を行い、混色について理解している。		
7	「平面構成」	7	・基本的な構成要素を用い、スケッチした形や色彩からイメージしたものを単純化、強調するなどして平面構成をデザインする。	・材料や用具の生かし方を見に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序を考えながら見通しを持って表している。	・身近な自然物などの特徴やイメージから主題を生み出し、構成を工夫している。	・自然物の特徴を生かして、模様をデザインするなどして、意図に応じて工夫し、見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝えたい内容を分かりやすく伝えるなどについて考え、見方や感じ方を広げている。	
	○これって美術 「日常の中の美レポート」	1	・身近なものの中にある美しさに気づき、レポートにまとめる。				
9	○西洋美術史 「印象派」「後期印象派」 「新印象派」 ○暮らしの中の工芸 「木彫小物かけ」	1 13	・作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考える。 ・木の持つ温かさや感触を生かし、用途や機能、美しさを考えて工夫して制作する。	・木の質感や特性、形や色彩などが感情にもたらす効果やぬくもりなどを全体のイメージで捉えることを理解している。	・使う場面や使う人の気持ちなどから主題を生み出し、使いやすさと美しさなどとの調和を考え、表現する構想を練っている。	・作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	

10 11				・木の加工の方法など身に付け意図に応じて工夫し、制作の順序を考えながら見直しを持って表している。			
12	○広がる模様 「消しゴムスタンプ」	7	・版による表現方法や効果、模様を合わせることに より意図に応じた表現方法を生み出す。		・形や色の構成を工夫したり、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさを考えたり、表現する構想を練っている。	・模様をデザインするなど構成や装飾の目的や機能を考え、意図に応じて工夫し見直しを持って表したりする表現活動の学習に取り組もうとしている。	
1 2	○文字って面白い 「絵文字」  学習成果発表会（展示）	8	・文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などのとの調和を考えてデザインする。	・文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、伝える内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 ・絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら、見直しを持って表している。	・文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などの調和を考え、表現する構想を練っている。 ・文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	・伝達デザインの目的や機能を考え、意図に応じて工夫し見直しを持って表したりする表現活動の学習に取り組もうとしている。 ・文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	毎時間の制作態度 学習プリント 学習カード アイディアスケッチ 作品 定期考査
3	○西洋美術史 「印象派と浮世絵」	1	・ジャポニスムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、美術を通した国際理解、文化の継承などについて考えを深める。	・構図や色彩がもたらす効果や線、彫り、摺りなどの特徴を基に作品の印象など全体のイメージで捉えることを理解している。	・浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫について理解を深める。	・美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

月	単元	時数	学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	体育理論 体づくり運動	3 7	[運動やスポーツの多様性] [新体力テスト] ・体力の高め方 [体ほぐしの運動・体力を高める運動] ・ペアストレッチ ・ラダー・ラジオ体操・組体操	【体育分野】 <知識及び技能> 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けようとしている。	【体育分野】 <思考力、判断力、表現力等> 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。	【体育分野】 <学びに向かう力、人間性等> 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	学習カード 教師の観察 技能テスト 記録 筆記テスト等 レポート
5	陸上競技（短距離走・リレー） ダンス	6 5	[短距離走・リレー] ・スタート、スタートダッシュ、中間疾走、フィニッシュ [フォークダンス] ・音楽に合わせて、特徴的なステップや動きで踊る。 ・オクラホマミキサー、マイムマイム	【保健分野】 <知識及び技能> 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けようとしている。	【保健分野】 <思考力、判断力、表現力等> 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えようとしている。	【保健分野】 <学びに向かう力、人間性等> 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
6	球技（ベースボール型）	8	[ソフトボール] ・基本的な技能を習得する				
7	水泳	12	[水泳] ・クロールでは速く泳ぐ ・平泳ぎでは長く泳ぐ				
8	球技(ネット型)	8	[バレーボール] ・基本的な技能を習得する ・ルールや試合の仕方などを理解する				
9	球技(ネット型)	8	[水泳] ・クロールでは速く泳ぐ ・平泳ぎでは長く泳ぐ				
10	球技（ゴール型）	8	[バレーボール] ・基本的な技能を習得する ・ルールや試合の仕方などを理解する				
11	器械運動（マット運動）		[サッカー]				

12	武道 (柔道)	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な技能を習得する</li> <li>・ルールを理解する</li> </ul>				
		8	<p>[マット運動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい技に挑戦する</li> <li>・できる技で連続技をつくる</li> </ul>				
1	陸上競技 (長距離走・幅跳び・高跳び)	8	<p>[柔道]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本動作・固め技・受け身</li> <li>・相手の動作に応じた基本動作から、相手を抑えるなどの攻防をする。</li> </ul>				
2	保健 (第1章)		<p>[1500m走・幅跳び・高跳び]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己のペースを守りながら、一定の距離を走る。</li> <li>・ピッチとストライド</li> <li>・記録会</li> </ul>				
3	球技 (ゴール型)	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶ</li> <li>・リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶ。</li> </ul>				
		8	<p>[心身の機能の発達と心の健康]</p> <p>[ハンドボール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な技能を習得する</li> <li>・ルールを理解する</li> </ul>				